



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ダイソー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4046 URL <http://www.daiso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 (氏名) 多木 宏行 TEL 06-6110-1560

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	68,781	10.8	3,517	3.7	4,041	10.5	2,278	8.2
25年3月期第3四半期	62,065	△2.5	3,393	△0.9	3,657	4.3	2,105	36.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,783百万円 (92.7%) 25年3月期第3四半期 1,963百万円 (53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	21.63	—
25年3月期第3四半期	19.97	19.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	88,491	41,266	46.6
25年3月期	76,804	38,246	49.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 41,252百万円 25年3月期 38,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	8.2	5,000	10.2	5,200	3.5	3,000	3.9	28.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	111,771,671 株	25年3月期	111,771,671 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	6,445,850 株	25年3月期	6,437,703 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	105,331,054 株	25年3月期3Q	105,401,287 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策および米国経済の回復基調を受け、輸出関連企業を中心とした業績の回復により景気回復の兆しが見られました。一方、円安進行による原燃料価格の高騰や欧州経済の低迷等、景気下振れリスクが存在する状況下で推移いたしました。

このような環境の下、水島工場では増強工事が完了し、より効率的な生産体制で取り組むとともに、その原材料を生産する子会社の岡山化成でも省エネ電解槽導入によるコスト低減を進め、今まで以上にコスト競争力を持つ生産体制を構築しました。

基礎化学品では、クロール・アルカリは、国内需要が堅調に推移しシェアの拡大を図ったため、売上高が増加いたしました。エピクロルヒドリンは、輸出販売が増加するとともに、塗料、土木用途のエポキシ樹脂需要の回復により国内販売が堅調に推移し、売上高が増加いたしました。

機能化学品では、アリルエーテル類は、販売強化により欧米で販売数量が増加し、また、円安効果もあり売上高が増加いたしました。エピクロルヒドリンゴムは市場開拓の効果が現れ、また、自動車生産台数増加の影響もあり中国、アジア向け輸出が好調に推移し、売上高が増加しました。ダップモノマーは、欧州向け絶縁ワニス用途の需要が回復したことから売上高が増加するとともに、ダップ樹脂もUVインキの市場拡大に伴い、国内を中心に売上高は好調に推移しました。液体クロマトグラフィー用シリカゲルは、販売力の強化により医薬品精製用途向けなど米国、中国への輸出が好調に推移し、売上高が増加しました。医薬品原薬・中間体は、抗血栓薬中間体、急性心不全治療薬原薬などが低調でしたが、抗潰瘍薬中間体、筋疾患治療薬原薬などが好調に推移し、売上高が増加いたしました。カラーレジストは、タブレット、スマートフォン等の需要増に支えられ、売上高が増加いたしました。また、従来より取り扱いの衛生材料向け吸水性樹脂および不織布は好調に推移し、売上高が増加いたしました。さらに、グラスファイバーは電子材料および産業資材向けに、売上高が増加いたしました。

住宅設備ほかでは、化粧板などのダップ加工材は、新築やリフォーム向けの需要が堅調に推移するとともに、住宅関連商品が好調に推移し、売上高が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、687億8千1百万円と前年同期比10.8%増加いたしました。利益面においては、営業利益は、35億1千7百万円と前年同期比3.7%の増加、経常利益は、40億4千1百万円と前年同期比10.5%の増加、四半期純利益は、22億7千8百万円と前年同期比8.2%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、16.2%増加し482億7千2百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が34億8千6百万円増加、有価証券が40億円増加したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、14.1%増加し402億1千9百万円となりました。これは、主として有形固定資産が27億1千3百万円増加、投資有価証券が23億1千2百万円増加したことによりです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、15.2%増加し884億9千1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、8.1%増加し343億1千7百万円となりました。これは、主として、1年内返済予定の長期借入金が15億5千5百万円増加、支払手形及び買掛金が14億9千3百万円増加したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、89.7%増加し129億7百万円となりました。これは、主として長期借入金が52億9千万円増加したことによりです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、22.5%増加し472億2千5百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、7.9%増加し412億6千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,934	4,298
受取手形及び売掛金	25,463	28,949
有価証券	—	4,000
商品及び製品	5,850	6,646
仕掛品	957	1,040
原材料及び貯蔵品	2,202	2,098
その他	1,150	1,243
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,555	48,272
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,051	9,111
その他(純額)	13,732	14,386
有形固定資産合計	20,784	23,497
無形固定資産		
のれん	1,165	1,069
その他	82	146
無形固定資産合計	1,248	1,216
投資その他の資産		
投資有価証券	11,565	13,878
その他	1,659	1,635
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	13,215	15,505
固定資産合計	35,248	40,219
資産合計	76,804	88,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,456	14,950
短期借入金	9,730	9,730
1年内返済予定の長期借入金	1,025	2,580
未払金	4,035	3,286
未払法人税等	785	1,037
賞与引当金	703	339
その他	2,017	2,392
流動負債合計	31,753	34,317
固定負債		
長期借入金	3,260	8,550
退職給付引当金	2,366	2,472
役員退職慰労引当金	568	590
その他	609	1,295
固定負債合計	6,804	12,907
負債合計	38,558	47,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	17,074	18,615
自己株式	△1,668	△1,670
株主資本合計	35,682	37,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,527	4,008
繰延ヘッジ損益	△1	22
その他の包括利益累計額合計	2,526	4,031
新株予約権	37	14
純資産合計	38,246	41,266
負債純資産合計	76,804	88,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	62,065	68,781
売上原価	51,460	57,941
売上総利益	10,605	10,839
販売費及び一般管理費	7,212	7,322
営業利益	3,393	3,517
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	220	238
為替差益	50	352
その他	76	71
営業外収益合計	357	672
営業外費用		
支払利息	67	83
その他	25	65
営業外費用合計	92	148
経常利益	3,657	4,041
特別利益		
固定資産売却益	0	505
新株予約権戻入益	29	22
特別利益合計	29	528
特別損失		
固定資産除却損	340	291
減損損失	—	459
その他	21	—
特別損失合計	361	750
税金等調整前四半期純利益	3,325	3,818
法人税、住民税及び事業税	956	1,620
法人税等調整額	264	△80
法人税等合計	1,220	1,540
四半期純利益	2,105	2,278

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
四半期純利益	2,105	2,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	1,480
繰延ヘッジ損益	△2	24
その他の包括利益合計	△141	1,504
四半期包括利益	1,963	3,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,963	3,783
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	29,061	19,655	13,348	62,065	—	62,065
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	1	301	373	△373	—
計	29,132	19,657	13,649	62,439	△373	62,065
セグメント利益	2,025	2,096	198	4,320	△926	3,393

(注) 1 セグメント利益の調整額△926百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 従来、親会社は機械装置のうち有機関係設備の主要部分と研究開発設備、子会社は一部の有形固定資産について、それぞれ定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更し、全ての有形固定資産について定額法を採用しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、セグメント利益は、基礎化学品において30百万円、機能化学品において293百万円、住宅設備ほかにおいて0百万円それぞれ増加し、調整額(全社費用)は13百万円減少しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	30,244	23,616	14,920	68,781	—	68,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	1	1,122	1,144	△1,144	—
計	30,264	23,617	16,042	69,925	△1,144	68,781
セグメント利益	937	3,236	177	4,351	△834	3,517

(注) 1 セグメント利益の調整額△834百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。